

ゲット アタッチ メタ

四月二日世界自閉症啓発デー【ルポ】

編集部=文
text by KOTONONE
河野 豊=写真
photograph by Yutaka Kohno



青いバッジが思いをつなぐ

朝九時三〇分、すでにたくさんの人でにぎわう渋谷・ハチ公前に、青色の服を着て集合したコトノネ取材班。四月二日は、国連が定めた「世界自閉症啓発デー」。世界中のランドマークがテーマカラーの青色に染まり、自閉症への理解普及のためにさまざまなイベントが行われる。

日本でも各地でイベントが行われるが、コトノネが同行したのは、「Get in touch!」(一般社団法人ゲットインタッチ)の一日。女優の東ちづるさんが立ち上げたボランティア集団

で、音楽やアートを通して、「まぜこぜの社会」の実現を目指して活動中。毎年、この日は「warm blue」と題して、東京の街を「青く染める」イベントを開催している。

実は今回、コトノネ取材班もいろいろな人を「青く染める」べく、あるものを用意した。それは、青いピンバッジ。この「コト28」という商品は、NPOO法

人しんせいが、東日本大震災で被災し避難を続ける福島県双葉郡の障害者施設の仕事をくりののために立ち上げたプロジェクト。自分のネクタイを送ると、その生地で世界に一つだけのピンバッジをつくってくれるというオーダーメイド商品だ。今回、特別に青いピンバッジを用意してもらった。三個人入りのピンバッジを、東さんに渡し、東さんの親しい人にピンバッジを胸につけてもらう。もらった人は、また、次の人へ。「ピンバッジの輪をどこまで広げていけるか」のチャレンジだ。

まず、東さんにバッジを渡して、ピンバッジを渡したい人を紹介してもらった。さて、輪はどこまで広がるか？

